

# 相模原マンドリン倶楽部

## 第 25 回定期演奏会



第 24 回定期演奏会 撮影 テスムジカ

2009 年 9 月 19 日（土）13:30 開演

川崎市麻生市民館ホール

## ♪ ご挨拶 ♪

本日はお忙しい中、第25回定期演奏会にお越しいただきましてありがとうございます。  
1977年に部員13人で発足した相模原マンドリン倶楽部は、今年で創部32年、部員も60人を超えるマンドリンオーケストラとなりました。これも皆様のご支援があつてのことと感謝申し上げます。

さて、今回の定演を目標に日々合奏練習を重ねてまいりましたが、それだけではなく「どのような『顔』で演奏するか」を課題として練習してきました。作られた「顔」でなく、同じ感情移入された演奏者の「自然の顔」と指揮者の「後姿」にご注目いただきながらマンドリンオーケストラの醍醐味をお楽しみ下さい。

今後ともマンドリン音楽に対する深いご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

部長 小澤健二郎

## ♪ 演奏曲目 ♪

### 第1部

指揮：宮本 皓永

喜歌劇「こうもり」序曲

作曲 ヨハン・シュトラウスⅡ

編曲 宮本 皓永

歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲

作曲 ピエトロ・マスカーニ

編曲 嶋 直樹

結ばれた窓 〜マンドリンオーケストラの為の〜  
組曲「エジプトの幻影」

作曲 小林 由直

作曲 ジュリオ・デ・ミケーリ

1) 踊り

編曲 中野 二郎

2) スフィンクスの伝説

3) ナイル河にて

-----休憩 15分-----

### 第2部

指揮：國土 潤一

客演指揮者

弦楽セレナーデ

作曲 アントニン・ドヴォルザーク

編曲 武藤 理恵

1) Moderate

2) Tempo di Valse

3) Scherzo:vivace

4) Larghetto

5) Finale:Allegro vivace

ルーマニア民俗舞曲

作曲 ベーラ・バルトーク

編曲 伊藤 敏明

1) 棒を持った踊り

2) 飾り帯をつけた踊り

3) 足踏み踊り

4) 角笛の踊り

5) ルーマニア風ポルカ

6) 急速な踊り

7) 急速な踊り

## ♪ 曲目紹介 ♪

### 喜歌劇「こうもり」序曲

Die Fledermaus ouverture

作曲 ヨハン・シュトラウスⅡ

Johann StraussⅡ (1825~1899)

ヨハン・シュトラウスⅡ世は、オーストリアのウィーンで活躍した作曲家／指揮者／ヴァイオリニスト。生涯の多くを、ウイナワルツの作曲に捧げ、「ワルツ王」と評されています。また、ワルツの他オペレッタ、ポルカなども作曲しており、毎年、元日に行われる「ウィーンフィル・ニューイヤーコンサート」では、彼の作品が演奏されることが多く、音楽の都「ウィーン」の代表的な作曲家です。「こうもり」は、1847年に作曲され、同年4月5日に初演された全3幕のオペレッタで、数あるウイナオペレッタの中でも最高峰とされ、オペレッタの王様とも呼ばれています。ヨハン・シュトラウスⅡ世特有の優雅で軽快なウイナワルツの旋律が全編を彩り、その親しみやすいメロディーは全世界で愛されています。この序曲は、喜歌劇「こうもり」の劇中の色々な曲をメドレー形式にしたもので、演奏会用としても人気のある名曲です。

### 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲

Cavalleria Rusticana intermezzo sinfonico

作曲 ピエトロ・マスカーニ

Pietro Mascagni (1863~1945)

ピエトロ・マスカーニは、19世紀末イタリアのオペラ作曲家／指揮者。父はピエトロに法を学ばせましたが、彼は音楽に強い関心を持ち、故郷の音楽院で本格的に音楽を学びました。20歳にならぬうちに交響曲、オペラ、カンタータなどを作曲し、その才能を認められ、ミラノ音楽院に入りましたが、途中で学校を飛び出し、指揮者として活動を始め、その後、音楽学校の教師となりました。「カヴァレリア・ルスティカーナ」は、ジョヴァンニ・ヴェルガによる小説、及び同人による戯曲で、マスカーニがこの戯曲に基づいて作曲し、1890年に初演された一幕物オペラの題名です。このオペラは一幕歌劇コンクールに当選し、一躍有名となりました。この曲は、「カヴァレリア・ルスティカーナ」の中で、演奏される美しい旋律の曲で、物語が盛り上がった処で、いったん心を静める為の間奏曲です。

### 結ばれた窓 ～マンドリンオーケストラの為の～

作曲 小林 由直

Yoshinao Kobayashi (1961~ )

小林由直氏は、三重県四日市市生まれ。医学博士。1984年、日本マンドリン連盟主催第4回作曲コンクールにて「北の地平線」が入賞し、以降、全国の大学、社会人のマンドリン奏者を対象に多くの作品を手がけられ、現在も、内科医の傍ら、マンドリン合奏曲などの作曲活動、及び指導をおこなっておられます。この曲の「結ばれた窓」は2007年、京都教育大学マンドリンクラブの委嘱作品として第48回定期演奏会で初演されています。小林氏はこの曲の作曲にあたって次のように記されていますので、その抜粋をご紹介します。「・・・この作品では、いくつかの「窓」から見える風景を分かりやすい音で描くとともに、後半ではそれぞれの風景の映った「窓」をいわば「人工的に」結びつけることを試みた。ある景色の中で遊んでいると、突如として違う景色が現れる。見えている物も、時間の流れも変わってしまう・・・。現実ではありえない展開を少しでも音によって表せればいいなと思いつきながら作曲した。」(「作曲者記」より抜粋いたしました)

### 組曲「エジプトの幻影」

Visioni Egiziane

ジュリオ・デ・ミケーリは、イタリアの作曲家、ヴァイオリニストで指揮者。ラ・スペツィアで生まれ、パルマのアリーゴ・ボイト音楽院で学び、ヴァイオリンのヴィルトゥオーソとして高い評価を得ました。作品数は160曲を超え、オペレッタ・ミサ曲・交響詩などを作曲し、代表作としては組曲「田園にて」、組曲「エジプトの幻影」、組曲「舞踏組曲」などがあげられます。この組曲「エジプトの幻影」は、作品122番で、時のエジプト王ファード一世に献曲されています。エジプトとイタリアとは地理的にも歴史的にも交流は深く、この王もイタリアで学んだ人であると云われます。エジプトはナイル河流域を中心に最古の文明が栄えたところで、ここの舞踏、ピラミッドを守護している巨大な石像のスフィンクスへの伝説、ナイル河の長い流域、その市場風景でもあろう喧騒さが表現されています。

作曲 ジュリオ・デ・ミケーリ

Giulio de Micheli (1899~1940)

### 弦楽セレナーデ

Serenade

アントニン・ドヴォルザークは、チェコの作曲家。ブラームスに才能を見出され、スラブ舞曲集で一躍人気作曲家となりました。ドヴォルザークはセレナーデを、2曲作曲していますが、楽器編成が異なっており、それぞれ「弦楽セレナーデ」「管楽セレナーデ」と呼ばれています。この曲は、弦楽合奏のためのセレナーデです。1875年5月3日から14日までの10日あまりで作曲され、1876年12月10日に初演されました。モデラートの三部形式の第1楽章、メヌエットの第2楽章、スケルツォの第3楽章、ラルゲットの第4楽章、アレグロ・ヴィヴァーチェのロンド・ソナタ形式の第5楽章からなり、いずれの楽章もカノンの模倣効果によってしなやかな叙情を描くことに成功しています。各章が抒情的な部分や舞曲の部分があり、とても美しい曲です。弦セレとして、チャイコフスキー、エルガー、スークと並び有名です。

作曲 アントニン・ドヴォルザーク

Antonin Dvorak (1841~1904)

### ルーマニア民俗舞曲

Rumanian Folk Dances

ベーラ・バルトークは、ハンガリー領トランシルヴァニアに生まれニューヨークで没した作曲家/ピアノ演奏家/民俗音楽研究家。作曲以外にも、民俗音楽学の祖の1人として、東ヨーロッパの民俗音楽を収集・分析し、アルジェリアまで足を伸ばすなどの精力的な活動を行ないました。また、ドイツ・オーストリア音楽の伝統を受け継ぐピアニストでもあり、コンサートピアニストやピアノ教師として活動しました。この曲は、1915年に作曲されたピアノの小品の組曲で、自身により管弦楽曲に編曲されました。バルトークの最もよきルーマニアの友人であり、また最も民謡採集に協力した人物であるイオン・ブシツィアに献呈されています。7つの旋律からなり、全曲が民族的な素材(リズムとモード)によっており、素朴な素材が豊かな改造編曲に適し人気があります。

作曲 ベーラ・バルトーク

Bela Bartok (1881~1945)

(参考資料として、ウィキペディア、中野二郎氏著「いる・ぶれっとろ」より引用させていただきました)

## ♪ 客演指揮者紹介 ♪

### 國土 潤一氏のプロフィール

昭和 31 年、東京生まれ。昭和 50 年東京芸術大学音楽学部声楽科入学。昭和 54 年同大学大学院音楽研究科修士課程入学（独唱テノール専攻）。昭和 57 年同大学院修了。昭和 58 年より 62 年まで、旧西ドイツ国立デトモルト音楽大学（旧北西ドイツ音楽アカデミー）に留学、帰国後はドイツ歌曲を中心とした演奏活動の他、後進の指導、各地での合唱やマンドリン合奏を主とした指揮・指導や『音楽の友』・『レコード芸術』誌を中心とした音楽評論を行っている。平成 21 年 4 月より東京学芸大学で教鞭を執っている。

## ♪ 活動レポート ♪

- 2008 年 11 月 15 日(土) 第 24 回定期演奏会(グリーンホール相模大野)  
12 月 13 日(土) 納会
- 2009 年 3 月 8 日(日) 第 21 回大野中公民館まつり参加(相模原市立大野中公民館)  
4 月 12 日(日) 第 28 回神奈川マンドリンフェスティバル参加(横浜市栄公会堂)  
4 月 25 日(土) 2009 年度定期総会(大野北公民館)  
6 月 6 日(土) 終日練習(ハーモニーホール座間)  
7 月 25 日(土) 終日練習(総合学習センター)  
8 月 22 日(土) 終日練習(ハーモニーホール座間)  
9 月 5 日(土) 終日練習(サン・エール さがみはら)  
9 月 19 日(土) 第 25 回定期演奏会(川崎市麻生市民館ホール)

## ♪ 練習風景 ♪

約 60 名の部員がおります。年齢層も広く、多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月 3 回の練習を行っていますが、平均 80% 以上の高い参加率です。マンドリン音楽を楽しんでいるんですね。その様子を示している写真です。皆さんも仲間に入りませんか。



1 月 10 日 弾き初め 総合学習センター



6 月 6 日 ハーモニーホール座間

## メンバーの紹介 ♪

Conductor 宮本 皓永 國土 潤一

◎トップ ○サブトップ ☆賛助出演

1st Mandolin	◎窪田成子 川崎紘子 木田絹子	○山崎了三 中重亜由美 吉野昌重	綾部文子 仁尾眞里	石本友子 濱地すぎの	梅澤典子 舟田徳穂
2nd Mandolin	◎池田百合子 桑田久美子 樋口三朗	○藍澤桃子 後藤ケイ子 福谷隆治	饗庭裕子 田嶋稔一 本田博子	大野薫 長澤直子 吉岡直美	京増万由美 長沼美智子 渡辺礼子
Mandola	◎寺田美千代 野沢孝広	○金澤葉子 笛木和美	大熊友子 古田栄治	大矢利夫 峯田福代	戸田節子 宮下和子
Mandolon-cello	◎井上昌子 宮本皓永	○飯田正男	市川久美子	小澤健二郎	錦戸民子
Guitar	◎宮本紀子 中嶋捷生 柳生秀人	○吉田真紀子 中西茂樹 和田真紀子	池上由子 長沢久美	加登文子 新田美佐子	田中厚子 原田治
Contrabass	◎錦戸雅子	○鈴木保彦	☆佐藤文俊		
Percussion	☆小川祐佳	☆宮部裕美			

司会 ☆矢崎ひとみ  
マネージャー 野沢孝広 ☆坂井和彦

部長 小澤健二郎  
マネージャー 金澤葉子 中重亜由美 吉野昌重 長沼美智子  
技術委員長 山崎了三  
技術副委員長 井上昌子

## ♪ 第26回(2010年)定期演奏会の予定 ♪

2010年の秋に開催を予定しています。ご期待下さい。

詳細は下記ホームページにて掲載致します。

相模原マンドリン倶楽部

問い合わせ先 小澤健二郎

ホームページ <http://www.geocities.jp/sagamiharamc/>